

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本コーナー・図書コーナー（環境設定）

<テーマの設定理由>

年齢を問わず子どもたち皆が絵本が大好きであり、また、様々な分野の絵本を読んでいる。そして、絵本の世界へ没入し体験をしている。そんな世界を更に深め、広げていけるように環境設定も行うため。

2. 活動スケジュール

2024年12月～2025年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本・本棚・パーテーション・図書コーナーの設置

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

絵本を読む空間として保育室に購入した移動式パーテーションを用意し、周りの様子を機にセブ絵本を見る、読む事に集中する。パーテーションを保育室内の遊び毎に区切って使用することで、コーナー遊びとしても活用することができ、それぞれが遊び混んで行く展開をした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

パーテーション内に数人の子どもたちがいると自然とそこから仲間意識が生まれ、最初は別々に遊んでいた子どもたちが、遊びが広がっていくとともに子どもの関りも広がって行って、【個】から【グループ】へと発展した。また、保育士が仲立ちをすることで、更に、遊びに深みが生まれ一緒に遊びの世界へ入って行く事が出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

コーナーやパーテーションの設置によって、安全管理だけでなく、子どもたちが集中して遊びこめる空間を作る事が出来る。そして、子どもたちのアイデアで自由自在に広がって行く事が出来る。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ごっこあそび

<テーマの設定理由>

絵本に出てくる、動物の家族やお医者さんにとても興味を持ち、セリフを子どもたち同士が言い合ったり、なりきり遊びを楽しみ始めたため。

2. 活動スケジュール

2024年9月～2025年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ままごとセット・お医者さんごっこのセット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

乳児クラスは絵本や図鑑を持ってきて、ママごと用の食べ物玩具を並べ、見比べ、食べものの名前を知る。幼児クラスはママごと遊び、お医者さんごっこのコーナーを設置して役になり切って遊んでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

積極的に会話を楽しむ姿があった。はじめは保育者が仲立ちをしながらやり取りを楽しんでいたが、子ども達も自然とジェスチャーから始まり子ども同士の言葉でのやりとりを楽しむようになった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

最初はママごととお医者さんごっこだけの容易で始まった模倣遊びだが、約二なりきる楽しさを知り、食べものの玩具が充実するとそこからお店屋さんごっこにも発展するなど、子どもたちの気づきで遊びが更に展開していく事を知る事が出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

けんけんぱーく（読み聞かせ会）

<テーマの設定理由>

たくさんの絵本を読み、年長クラスは素話なども聞く中、読み聞かせのプロに読んでもらう事で更なる絵本の楽しさを知ってもらうため。

2. 活動スケジュール

2024年7月～11月・2025年1月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

図書館に通って沢山の絵本に触れていく。プロの団体「けんけんぱーく」さんに依頼し読み聞かせの場を設ける。そして、年長児の交流会を通して近隣園の年長クラスや、地域の子育て家庭を招待した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

図書館へ通い、たくさんの絵本や紙芝居に触れて、読んでもらう事に興味を持ち、読み聞かせの心地よさを感じていた。0～1歳児・2～3歳児・4～5歳児クラスに分けて行う事で年齢に沿った内容の絵本や紙芝居、朗読会を行った。オリジナルの歌や手遊びの披露もあり、楽しんで参加していた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

演者の話す言葉を繰り返したり、一緒に歌ったりと楽しんでいた。また、近隣園との交流についても終了後に感想を述べあったりするなど、余韻にも十分に浸る事が出来た。子どもたちは、今回の経験を通してより絵本の世界に夢中になり、お話し合い以降も保育士に絵本を読んで欲しいと伝える事が増えた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本の読み方が違う事で子どもたちの興味関心をより深く引き出せることに改めて気づかされた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

オノマトペ表現遊び

<テーマの設定理由>

オノマトペの表現が入っている絵本が大好きな0歳児クラス。更なる発展のために、木の玩具により実際の自然物の音を感じ、素材の違いから音の違いなど、様々な感覚に触れるため。

2. 活動スケジュール

2024年9月・2025年1～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本・木製玩具

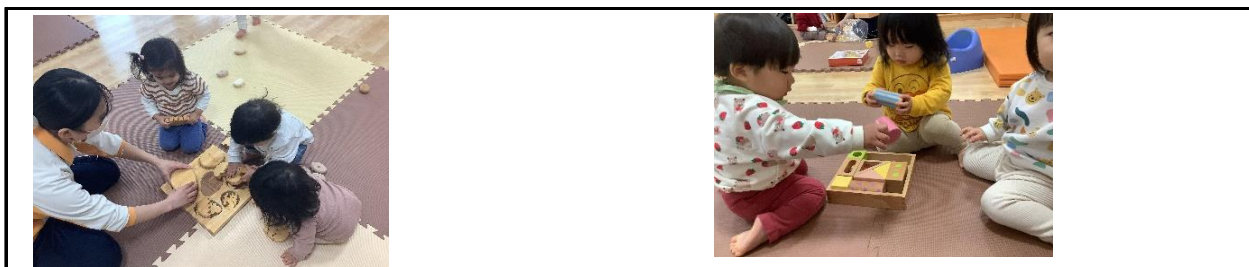
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

オノマトペの絵本に興味を次飯繰り返し楽しんでいった。「もいもい」は特に人気であり、少しずつ他の絵本にも手を伸ばすようになった。また、絵本から発せられるオノマトペを実際の聴覚としても感じられるように、1月におもちゃ美術館で木製玩具を購入し日々の遊びの中で楽しんでいった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育士が読む絵本を「オノマトペ」の部分だけ言葉で発して楽しんだりしていた。玩具では、実際になる音を聞き、楽しみながら繰り返し行ったり、保育士にも鳴らすように求めたりと一緒に楽しむ姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、繰り返しの言葉を楽しみながら「言葉」の習得もしていく。また、素材の違う気の音を聞き分け比べながら楽しんでいった。0歳児ならではの感覚の鋭さを感じる事が出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自由工作遊び

<テーマの設定理由>

絵本の中で、「3匹の子ぶた」や「100かい建てのいえ」などに興味を持っていた。そこで、保育者が家を作ってみることを提案すると、子どもたちが目を輝かせて意欲を見せたため。

2. 活動スケジュール

2024年12月～2025年3月まで

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

段ボール、絵の具、マジック、テープ、筆、パレット、クレヨン、画用紙、カラービニール、スズランテープなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

廃材遊びを通して、想像力を膨らませて様々なものを作っていた。その後、保育参加では、家族と一緒に1件の大きな段ボールハウスを作成した。そこでは大人も子供も夢中になって協力し作り上げていく姿があった。終了後は段ボールハウスを他のクラスでも使用できるように自由に使い、またそこから更に遊びに発展していった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育参加での家族の楽しそうな様子は、子どもたちにとって更に楽しい時間となっていた。また、クラス内の保護者同士の関りも深まり、担任と保護者の信頼関係の高まりにもつながるなど、政策の域を超えての発展がみられていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

廃材を大人には思いつかないようなことに使用したり、絵の具では、今まで使いすぎないように伝えたりしながら保育をしていたが、制限なく使用することで、子どもたちが自分で発見する事、はたまた自分で片づける事も学ぶことができ、一つの活動から多くの事が経験できることを知る事が出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育（ホットケーキ）

<テーマの設定理由>

絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」を読んでいた、子どもたちから「おいしそうだね」「食べたいね」という声があがったため。

2. 活動スケジュール

2024年4月～11月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本・ホットプレート・ホットケーキ用食材

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

「しろくまちゃんのホットケーキ」を読んでから、どのように作るのか子どもたちと話題にし、おやつで出てきたホットケーキから材料を調べみんなで作ってみた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

普段の生活では、なぜか手作りおやつが不人気な事が多い。しかし、絵本のホットケーキを目指し自分で作ってみるととてもおいしいことに気が付いた様子で「おいしいね」と多くの声が上がっていた。そこから、手作りおやつへの美味しさに気が付く児も多く見られた。また職員も一緒においしそうに食べる姿から食べてみようとする児も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

苦手な食べ物を実際に作って食べることで、おいしさの発見が出来る事が保育士自身の体験にもなった。食育のみならず実際の体験というものが子ども達にとって大切な事だという気づきになった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

紙芝居の読み聞かせ

<テーマの設定理由>

絵本に興味を持った子どもたちは、紙芝居にも興味を持つようになったため更なる興味を広げていくため。

2. 活動スケジュール

2024年4月～2025年1月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

紙芝居・紙芝居ケース・棚

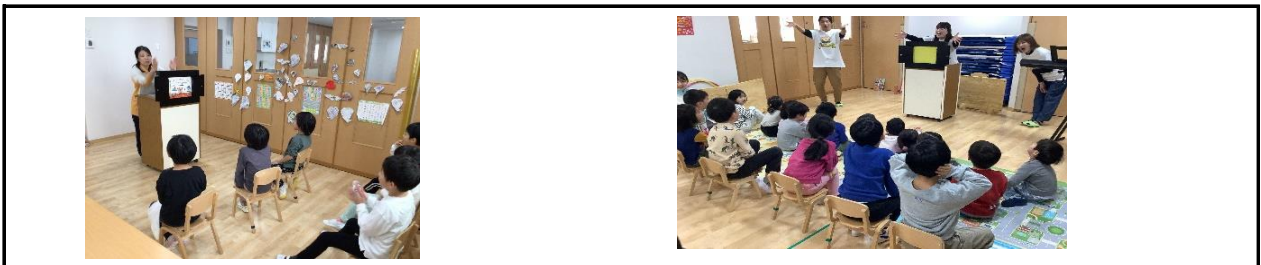
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子ども達が読みたいと言う紙芝居を読む。また、行事を通じて由来などについても紙芝居で知っていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

本格的なケースに入れられた紙芝居を読んでもらう事で、子どもたちはより一層わくわくし、楽しさがこみあげてくるようだった。また、保育士にも次も読んで欲しいと伝えるなど、意欲的である。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

紙芝居は普段から保育に取り入れてはいたがケースに入る事で、子どもだけでなく保育士も楽しみが広がったことを実感できた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

交流会

<テーマの設定理由>

他園と交流する中で、人間関係の広がりから、新たな遊びの発展がみられたため。

2. 活動スケジュール

2024年5月～2025年2月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カプラ・LaQ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年長児中心に他園との交流会を通して様々な遊びを行った。また、互いの施設を利用しそれぞれがどのような遊びをしているかにも興味を持ち、それは玩具にも至り自園に持ち帰って取り組むようになった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

はじめは、他園に行っても同じ園から来た友達とばかり関わっていたが、他園の玩具を使用するにあたり、他園の年長児に話しかけどのようにして遊ぶのかを聞いたりして、遊びが広がって行った。名前も自然と覚えて呼び合うようになっていった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが遊びを通して自然と友達になっていく様を見て、遊びが子どもの環境に大きく影響していることに改めて気づかされた。また、自園の中でも年長児が習得してきたことを年下の児たちに伝授していくことで異年齢の交流も深まっていくことにも気づいた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

1歳児クラスは色に興味を持ち始めていた。絵本だけでなく「どんな色がすき」の歌も好んで歌ったりしていた。そこから実際に色で様々な体験に広がって行った。

2. 活動スケジュール

2024年4月～2025年2月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵の具・画材・画用紙・模造紙・マジック・クレヨンなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

色に興味を持った子どもたちが実体験として絵の具を楽しめるように、大きな模造紙にボディペインティングをしたり、様々な色の真座位具合を楽しんだりした。また、保育参加でも取り入れ家族で楽しめる場にもなり、子どもたちはより一層楽しみが深まった様子であった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育参加の中では、普段家庭でこのように思い切りしたい事をさせてあげられなかったため大変楽しかったと多くの意見を頂けた。活動中の子どもたちは、表情からも楽しい事が伺え保育者と一緒に楽しむことで更に活動を深めて行く事ができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達が楽しむ姿は、子どもが楽しいだけでなく一緒に過ごす家族も楽しくなりそれが保育者への信頼にも繋がって行く事が実感することができた。子どもの遊びを深める事が目に見える事だけでない所にまで良い影響となって波及していくことに気づかされた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	キッズパートナー駒込
施設所在地	豊島区駒込 4 - 4 - 9
法人名	ケアパートナー株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

お店屋さんごっこ

<テーマの設定理由>

ごっこ遊びの中でも、お店屋さんごっこに夢中になり、言葉のやりとりを楽しんだり、実際に物を作って楽しむなどをしていたため。

2. 活動スケジュール

2024年5月～2025年2月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

粘土・画用紙・テープ類・画材・ハサミなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

絵本を読みながらどのようなお店をしてみたいか子どもたちと話をしていた。まずは粘土で表現をしてみて、そこからさまざまな画材や教材を用いて表現の幅を広げていった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちは作っている最中からお店屋さんになり切って互いに声を掛け合っていた。物を作る事もそうだが、お金のやりとりの場面もとても好きな様子で、擬音も交えながらなりきり遊びを楽しんだ。また、言葉のやり取りを通して子どもたち同士のかかわりも深まった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

たが、子どもたちはお店を作っているときから既にお店屋さんになりきって、想像しながら遊